



お客様のプロジェクトやご要望に応じて、左記の内容のワークショップ/面談を受け付けております。

バーチャルワークショップ 2021年5月17日(月) - 21日(金)

バイオ医薬品の開発におけるリスクコントロール Avoid and mitigate risk of failure or significant delay when developing biotherapeutics

薬剤またはワクチン候補を後期ディスカバリーから臨床に進めることは、医薬品開発における最も重要なステップの1つです。多くの場合、タイムラインおよびコストのプレッシャーのもと、科学的にもビジネスにおいても長期的に影響を及ぼしうる重要な決断を下さなければならぬ段階です。

Lonzaのタンパク質設計と最適化のサービスは、製造開発におけるリスクを特定・緩和し、効率的に治療用タンパク質の品質と安全性を向上させるのに役立て頂けます。これらの開発初期段階において、見識のある専門家にお訪ね頂くことがとても重要です。

リードのリスク低減

- アセスメント・製造性スクリーニング
- タンパク質工学
- ヒト化

望ましくない免疫応答の防止

- 脱免疫
- 免疫原性

御社のin vitroおよび前臨床試験のための材料の生成

- 非GMPタンパク質の発現と供給
- 6週間以内に2gまでの抗体供給を保証

INDに関する規制ガイダンスの遵守

- *in-silico*および*in-vitro*免疫原性/免疫毒性評価



Yvette Stallwood, PhD
Head Cambridge Site and
Applied Protein Services



Noel Smith, PhD
Head Immunology
Applied Protein Services

当サービスについてはこちらから：
pharma.lonza.com/offerings/discovery-services

面談のお申込み・お問い合わせ:

ロンザ株式会社 受託製造開発事業部

E-mail
pharma-biotech-apac@lonza.com